

今年の御言葉：誕生と増殖

I 歴代誌 16:1 こうして、彼らは、神の箱を運び込み、ダビデがそのために張った天幕の真中に安置した。それから、彼らは神の前に、全焼のいけにえと和解のいけにえをささげた 2 ダビデは、全焼のいけにえと和解のいけにえをささげ終えてから、主の名によって民を祝福した。3 そしてイスラエルのひとりひとりみなに、男にも女にも、それぞれ、丸型のパン、なつめやしの菓子、干しぶどうの菓子を分け与えた。

4 それから、レビ人の中のある者たちを、主の箱の前に仕えさせ、イスラエルの神、主を覚えて感謝し、ほめたたえるようにした。5 かしらはアサフ、彼に次ぐ者は、ゼカリヤ、エイエル、シェミラモテ、エヒエル、マティテヤ、エリアブ、ベナヤ、オベデ・エドム、エイエル。彼らは十弦の琴や、立琴などの楽器を携え、アサフはシンバルを響かせた。6 祭司ベナヤとヤハジエルは、ラッパを携え、常に神の契約の箱の前にいた。7 その日その時、ダビデは初めてアサフとその兄弟たちを用いて、主をほめたたえた。8 主に感謝して、御名を呼び求めよ。そのみわざを国々の民の中に知らせよ。

➔ 神様の臨在を中心に置いたダビデの王制

1. ダビデは神の箱をエルサレムに運び入れました
2. ダビデの幕屋に神の箱を安置しました
3. 全焼のいけにえと和解のいけにえをささげて、礼拝しました
4. レビ人を任命して、神の箱の前で毎日、「感謝して、ほめたたえる」ようにした。

ダビデはイスラエルの王になったときに、サウルの時になおざりにされていた、神の箱、神の臨在を第一にたいせつに考えました。ペリシテ人の所から戻ってきて、安置されていた神の箱をダビデの町に運び入れました。そして幕屋をはり、神の箱を安置したのです。神様が町を治めて下さる事を第一としたのです。また神様の全ての御業を感謝して、ほめたたえる為にレビ人を任命しました。

➔ いつ神様に毎日感謝をささげたのでしょうか？

16:37 彼は、その場所、すなわち、主の契約の箱の前に、アサフとその兄弟たちをとどめておき、毎日の日課として、常に箱の前で仕えさせた。

➔ どのように感謝をささげたのでしょうか？

1. 主を覚えて、感謝し、言葉でほめたたえた
2. 楽器と賛美をもって神様をほめたたえた
3. 神様の契約の箱の前で、臨在の前で
4. 神様にいけにえをささげた【感謝献金】

➔ 何を感謝したのでしょうか？

1. 神様の奇跡の御業【I 歴代誌 16:9】  
神様はイスラエルの民を奴隷からエジプトの奴隷から贖い、救われた
2. 神様の変わらない約束  
律法と契約を与え、約束の地を与えられた
3. 神様の勝利、さばき  
約束の地の全ての敵から勝利を与えられた。
4. 神様の恵みに感謝  
イスラエルの民の不信仰のゆえに、約束を取り消されなかった

➔ 荒野のイスラエルの民

1. 出エジプト：奴隷からの解放、あがない

【出エジプト 15 章 1 節】勝利と救いに対して、主をほめたたえた

15:1 そこで、モーセとイスラエル人は、主に向かって、この歌を歌った。彼らは言った。「主に向かって私は歌おう。主は輝かしくも勝利を収められ、馬と乗り手とを海の中に投げ込まれたゆえに。  
2 主は、私の力であり、ほめ歌である。主は、私の救いとなられた。この方こそ、わが神。私はこの方をほめたたえる。私の父の神。この方を私はあがめる。

2. 荒野の旅：不平不満、不信仰

40 年間の荒野の旅、約束の地に入ることができなかった

エジプトから出て来て、神様の奇跡を体験した世代は荒野で死に絶えた

出 15:22 モーセはイスラエルを葦の海から旅立たせた。彼らはシュルの荒野へ出て行き、三日間、荒野を歩いた。彼らには水が見つからなかった。23 彼らはマラに来たが、マラの水は苦くて飲むことができなかった。それで、そこはマラと呼ばれた。24 民はモーセにつぶやいて、「私たちは何を飲んだらよいのですか。」と言った。

民数記 13:31 しかし、彼といっしょに上って行った者たちは言った。「私たちはあの民のところ  
に攻め上れない。あの民は私たちより強いから。」32 彼らは探って来た地について、イスラエル  
人に悪く言いふらして言った。「私たちが行き巡って探った地は、その住民を食い尽くす地だ。私  
たちがそこで見た民はみな、背の高い者たちだ

➔ イエス様の御業を覚えましょう

1. 貴方の罪を赦し、あがなってくださった
2. 永遠の命を約束してくださった
3. 十字架での病の癒し、敵からの勝利

103:2 わがたましいよ。主をほめたたえよ。主の良くしてくださったことを何一つ忘れるな。  
103:3 主は、あなたのすべての咎を赦し、あなたのすべての病をいやし、  
103:4 あなたのいのちを穴から贖い、あなたに、恵みとあわれみとの冠をかぶらせ、  
103:5 あなたの一生を良いもので満たされる。あなたの若さは、わしのように、新しくなる。  
103:6 主はすべてしいたげられている人々のために、正義とさばきを行なわれる。

➔ どのようにして神様を感謝できるのでしょうか。

1. 神様第一、神様中心の生活をする。ダビデのように
2. 神様の御業を感謝して、言葉で表現。「救いを感謝します」「恵みを感謝します」「備えを感謝します」
3. 神様に感謝のささげものを捧げる：感謝献金をささげる
4. 神様に感謝の賛美をささげる、楽器をかなでる
5. 神様の御業を忘れないように、人々に証をし続ける【I 歴代誌 16:8】

- 全ては神様から来ていることを認識する。当たり前とか、自分の力ではない。主から与えられている命も時間も神様から与えられて限りあるものです。永遠に自分のものではないのです。神様の目的の為に造られた者であること。与えられた賜物であることを認識しましょう
- 不足している所ばかりに目が行っていないだろうか。人に対して、状況に対して、財政に対して、
- 不平不満に心が満たされると、神様が見えてきません。恵みが見えなくなります。不信仰になります。
- 神様の感謝で満たされると、状況は変わりませんが、貴方が変えられます、信仰が与えられ、奇跡が起こります
- 今日から、神様中心に神様に感謝する人生を歩みましょう！ダビデのように。
- 人々に貴方が体験した神様の御業、救い、奇跡を証しましょう。